

「デング熱」にご注意ください

まずは予防を！症状が出たら、すぐに医療機関へ！！

2016年発生地域から帰国された方がデング出血熱で死亡する事例がありました

デング熱は、デングウイルスが感染しておこる感染症で、**発熱、頭痛、筋肉痛や発疹などが主な症状**です。まれに重症化して、早期に適切な治療が行われなければ死に至ることがあります。

熱帯や亜熱帯の全域で流行しており、東南アジア、南アジア、中南米で患者の報告が多く、その他、アフリカ、オーストラリア、南太平洋の島でも発生があります。

渡航中の注意点

◎デング熱は、蚊を介して感染します。発症した人が蚊に刺されると、その蚊にウイルスが移り、その蚊に刺されたほかの人に感染します。そのため、蚊に刺されないようにすることが重要です。

《蚊に刺されないためのポイント！》

- 肌を露出しない長袖、長ズボンを着用する
- 素足でのサンダル履きを避ける
- 白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ
- 露出する部分には虫除けスプレーなどを使用する
- 蚊取り線香などを使って蚊を近づけない

※渡航中に発熱や筋肉痛・関節痛などの症状が現れたときは、自己判断で解熱剤を服用したりせずに、すぐに医療機関を受診してください。



帰国後の注意点

◎デング熱の**潜伏期間は2～14日**です。デング熱の初期に現れる**発熱や筋肉痛、関節痛などの症状**は、インフルエンザにかかった場合にもよく見られるため、自分一人で判断を下すことは危険です。これらの症状が現れた場合は**早めに医療機関を受診**して、診断・治療を受けましょう。

- 帰国時に発熱など心配な症状のある方や、渡航先において医療機関を受診するなど体調に不安のある場合は、**空港や港の検疫所にご相談**ください。
- 帰国後に発症した場合は、**速やかにお近くの医療機関を受診**し、医師に、渡航先や渡航期間、渡航先での活動などについて、詳しく伝えてください。



デング熱について
(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuni-tsuite/bunya/0000131101.html>



デング熱に関するQ & A
(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaou/kansenshou19/dengue_fever_qa.htm



デング熱にご注意を！予防策は「蚊に刺されない」「蚊を発生させない」(内閣府)

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201509/1.html>